

## 平成19年度堆肥共励会畜産協会長賞受賞者概要

### 1. 組織概要

組織名	阿蘇市堆肥化センター	代表者名	阿蘇農業協同組合 代表理事組合長 丸山信義
所在地	阿蘇市狩尾831番地4		
組織等の概要 (活動の経緯)	平成10年度 地域農業基盤確立農業構造改善事業により堆肥製造施設を整備 施設面積：鉄骨造平屋建 1棟：1,500㎡ 処理能力：最大処理能力12t / 日(2レーン) 処理方法：機械攪拌(スクープ式攪拌) 機 械：ホイールローダー1台、2tファームダンプ1台、袋詰機械一式、 トラックスケール 平成11年4月 堆肥生産を開始 平成11年9月 堆肥販売を開始		

### 2. 堆肥の特徴

原材料	家畜ふん尿		副資材			その他	計 (%)
	乳牛	肉用牛	樹芸くず	カヤ	戻し堆肥	下水汚泥	
汚泥入り堆肥		40	20		20	20	100
野草堆肥 (今回受賞分)	40		20	30	10		100

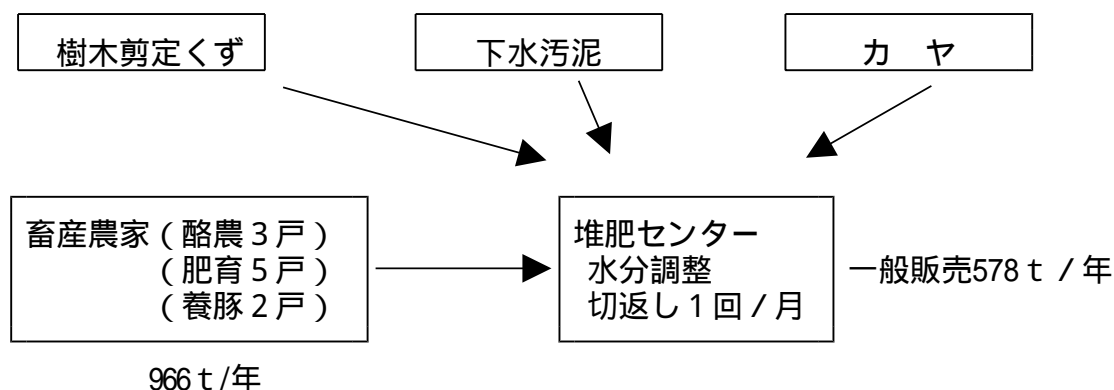
上記の比率により原料を混合し、発酵槽内へ搬入。発酵槽で約1ヶ月間1日1回の割合で攪拌を行う。その後、発酵槽から出シエアレーション、切返しによって約3ヶ月間発酵させ製品となる。製品については、JA購買部を通じ販売。

### 3. 堆肥の生産及び流通について

#### 1) 堆肥生産の施設・機械等

- ・鉄骨造平屋建 1棟：1,500㎡
- ・ホイールローダー1台、2tファームダンプ1台、袋詰機械一式、トラックスケール

#### 2) 堆肥化及び利用・流通のフロー



#### 4. 今後の目指す方向と課題

- ・集落が近隣にあるため、攪拌する時間と風向きを考慮している現状にあることから、臭気対策が課題となっている。
- ・環境保全型農業に対する機運の高まりから、圃場等への堆肥投入の要望が増えているため、堆肥を増産するためのストックヤードが必要となる。
- ・フレコンでの販売も検討したい。



写真1 堆肥センター全体



写真2 副資材の野草ロール



写真3 スクープ式攪拌機（1ヶ月間）



写真4 堆積高をおさえた週一回の切返し  
（寒冷紗で温度と湿度を保つ）



写真5 通気はプロアー1台で低コスト化



写真6 仕上がった野草堆肥